

ジュニア 献血ポスター コンクールの お知らせ

応募しめきり

令和3年

9/30

木曜日

「献血」は、病気やけがで「輸血」を必要としている人を救うためになくてはならないボランティアです。このことを中学生の皆さんにも知ってもらいたい!そして、皆さんが描いたポスターを見た多くの人たちに「献血って大事なんだ」と感じてもらいたい!そのような願いから、今年もジュニア献血ポスターコンクールを実施します。



福島県
献血マスコット
キビチーちゃん

このコンクールは、福島県が主催し、福島県教育委員会・福島県献血推進協会が後援しています。

応募できる人

福島県の中学校又は特別支援学校中学部等に通っている中学生

応募するときの注意

- 1 作品は、皆さん自身が描いた未発表のものに限り、1人1点までとします。
- 2 このお知らせの下にある応募票に、名前、中学校名、学年をはっきりと書いて、作品の裏面にはって提出してください。
なお、名前には、必ず「ふりがな」をふってください。

ポスターの内容

献血の大切さを表現したもの

(水彩画のほか、色鉛筆画、クレヨン・クレパス画での応募も可能です。)

献血の大切さを表現することばや文章を図案の中に必ず入れてください。

なお、日本赤十字社のマーク(+)を使用する際は、その上に文字を書き込んだり、色を変えたりしないでください。

応募の方法

応募作品を福島県薬務課まで郵送または持参してください。

ポスターの大きさ

大きさはB3判画用紙(364mm×515mm)または四ツ切画用紙(392mm×542mm) A3判(297mm×420mm) Yコ型とします。

タテ型や規格外の大きさの場合、審査の対象になりません。

審査及び発表

審査会を開催して、次のとおり受賞作を決定し、その結果を福島県薬務課ホームページに掲載するとともに、受賞された方及び在籍する中学校に通知します。また、福島市において、表彰式の開催を予定しております。

最優秀作品	1点	(賞状及び記念品)
優秀作品	2点	(賞状及び記念品)
入選	8点以内	(賞状及び記念品)

受賞作品の使い道

受賞したいくつかの作品を1枚のポスターにして、各中学校等に配ります。

応募作品の帰属

応募作品の著作権は福島県に帰属します。また、応募作品は返却しません。

その他

今年度は新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ例年とは異なる対応となりますので、ご注意ください。

○例年、応募作品は、薬務課へ郵送または保健所へ持参いただいておりますが、今年度は、郵送・持参ともに福島県薬務課への提出となります。

○用紙の大きさについて、郵送しやすいようA3判用紙も可能としました。

また、画材については、水彩絵の具の他に、色鉛筆・クレヨン(クレパス)も可能としました。

○今年度は、個人での応募となりますので、団体賞はありません。

✂ キリトリ線

令和3年度 献血ポスターコンクール応募票

ふりがな
名前

中学校名

学年

年

中学生の皆さんへのお願い

「献血って痛くないの?」

実は、針をさすとき、ちょっとだけガマンが必要です。

でも献血のあとには

「病気やけがで困っている人を助けることができた!」という満足感が皆さんの心に広がると思います。

皆さんがもう少し大人になったら、

ぜひ、献血にご協力ください。

皆さんのほんのちょっとの勇気が誰かの「命」をささえます。

血液の基礎知識

赤血球

酸素を運ぶ働きをしています。

白血球

病原体とたたかい、病原体から体を守ってくれます。

血小板

けがをして出血したときなどに血を止めてくれます。

献血の基礎知識

種類

200mL献血、400mL献血、成分献血という種類があります。

年齢

200mL献血は16歳から、400mL献血は男性は17歳、女性は18歳から、成分献血は18歳から協力することができます。

献血ってどうして必要なの?

「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。

病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があり、これを「輸血」といいます。

また、「血漿分画製剤」は、やけどや感染症、血友病の治療などに使われる医薬品で「血液」からつくられます。

この「血液」は、国民の皆様の善意の献血によって提供されているのです。

献血は16歳から



献血のご協力をお願いする理由 (輸血用血液の場合)

人工的に造れない!

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、輸血用血液はいまだに人工的に造ることができません。

長期保存ができない!

血液は、生きた細胞の集まりなので、長い間保存できません。いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてははいけません。

献血回数・量には制限がある!

献血いただく方の健康を守るために、1人あたりの年間の献血回数や献血量には上限が設定されています。

そのため、必要な量の血液を集めるためには、多くの方に協力していただく必要があります。

病気の治療に必要です!

輸血はどのような時に使われるのでしょうか? 多くはがん治療で、約40%を占めます。

このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

応募作品の提出先

郵送または持参

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 西庁舎7階 福島県保健福祉部薬務課
TEL024-521-7232



福島県庁薬務課ホームページの献血ミュージアム「アートギャラリー」で過去の受賞作品を見ることができます。

〈ホームページアドレス〉 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045f/top-gallery.html>